



校長\*河野 裕二

今、私は自転車に乗って、山道を登っています。私の田舎に帰る途中です。道路の左側には、見慣れた小道が山の頂に向かって伸び、所々に山ツツジが咲いています。道路の右側には、小さな頃に遊んだ小川が続きます。この場所に来るといつも何故かほっとします。

それにしても不思議です。ここまで帰ってくると、知っている人も知らない人も、みんな「笑顔」で挨拶できるのです。

「よう帰りんさった」「元気にしどりんさる」と昔ながらの言い回しですが、みょうに心が落ちつきます。決して、ふるさとには、良い思い出ばかりが詰まっているわけではないのですが、楽しかったことやがんばったことを懐かしく思い出します。そんな一時、ふと、生徒の皆さんや保護者の皆さんにもう一度お話ししておきたいことを思い出しました。それは、「笑顔こそ」という、昔、私が学級担任をしていたころに、学級通信の中で届けた詩のようなメッセージです。

真剣なまなざし 困難に挑む表情 一生懸命に取り組む姿 それぞれ素敵だ  
でも 私が一番大好きなのは きみ達の笑顔



いつもはあまり笑顔を見せない君が 今日は柔らかな笑顔でいさつを返してくれた

それだけで 心がほっと温かくなる

いつも明るい笑顔で声をかけてくれる君が 今日は何故かうつむいている

それだけで 心にすっと 心配風が吹く

つらいこともある 逃げ出したい時もある 振り返りたくないこともある

でも 後ろ向きにだけは ならないでくれ

ゆっくりでいい 少しずつでいい 必ず 前を向いて歩き出し 乗り越えてくれ

そして 君の温かく 優しい笑顔を 取り戻してくれ

笑顔こそが私達を 仲間を 家族を 支えてくれる

笑顔こそが 私達を勇気づけ 挑戦させてくれる

あなたの笑顔こそが

あなた自身と あなたの大切な人々を 周りの仲間を幸せにする きっと



## さわやかに、笑顔でやりましょう

わたしは、いつでもこんな気持ちでありたいと思います。

そこで、昨年度は、三和中PTAの活動方針を、「おはよう」「笑顔」「ありがとう」として、教室や廊下に生徒や保護者の皆さんがあつめ作製してくれた、ポスターを掲示するなど、三和中が明るくハキハキとした学校となるための取り組みをスタートしました。

今年度は、この目的を皆さんとともに達成していきたいと考え、あいさつ運動や校内見回りなどの実践活動を充実していきたいと思います。

そこで、「おはよう」「笑顔」「ありがとう」への思いをツラツラ（・<>・）

「おはよう」は、まさに一日の始まりのあいさつであり、心を潤す言葉です。

私たち保護者から、どんな時にも「笑顔」で「おはよう」を実践してみませんか。

「笑顔」は自分も相手もさわやかな気分へと導いてくれます。また、「ありがとう」って言われるととても良い気持ちになるし、「ありがとう」と言えたら、やさしい顔になります。元気よく「おはよう」のあいさつをする。心を込めて「ありがとう」を言う。

「おはよう」「ありがとう」と短い言葉ですが、私は三和中学校が、この言葉が自然にでてくる「笑顔」あふれる学校になればいいなと思います。

保護者のみなさん「おはよう！」「ありがとう！」とお互いが声に出して、生徒たちとともに、「笑顔」さわやかな三和中にしましょう。



平成20年度のPTA会長を務めさせていただきます。

昨年に引き続きよろしくお願ひいたします。